

主管課	危機管理室	一 般 会 計					
		款		項		目	
		2	総務費	1	総務管理費	12	危機管理費
事業の内容及び成果							
【危機管理事業】 ○危機管理関係 危機事象に対応した。 ＜熊らしき動物などの目撃情報＞ 市民等からの目撃情報から、関係各課と情報共有及び連携を図り、担当部署による現場確認情報の収集や、市ホームページ、防災行政無線で注意喚起等を行い、市民生活の安全を確保した(目撃情報19件) ・市ホームページによる注意喚起 2回 ・防災行政無線による注意喚起 2回 ＜オスプレイに関する情報提供＞ 防衛省北関東防衛局等からの、横田飛行場におけるオスプレイの離発着に係る情報について、市民への周知及び市議会に報告を行った。(情報提供数26回)							

主管課	危機管理室	一 般 会 計					
		款		項		目	
		2	総務費	1	総務管理費	21	諸費
事業の内容及び成果							
【その他諸費】 ○自衛官募集事務 自衛隊法第97条に基づき、自衛官の募集に関する事務の一部を行った。 ・「広報はんのう」、4月、8月、9月、11月、2月、3月号の計6回、自衛官募集の記事を掲載した。 ・自衛官募集告示用品として、ウエットタオルを作製し配布した。 ○基地対策関係 基地対策に係る協議会などに参加し、要望活動等を行った。 ＜埼玉県基地対策協議会＞ 県と14市町で構成され、7月に北関東防衛局及び関係省庁に要望活動を行った。 ＜防衛施設周辺整備全国協議会＞ 防衛施設周辺自治体全国243市町村が加入している協議会で、飛行活動に関する制限・規制・安全確保等について国に要望を行った。							

主管課	危機管理室	一 般 会 計					
		款		項		目	
		9	消防費	1	消防費	1	常備消防費

事 業 の 主 な 内 容 及 び 成 果

【埼玉西部消防組合負担金】

埼玉西部消防組合へ負担金を支出した。

○実施された事業

＜飯能日高消防署稲荷分署建替工事＞

・構造及び床面積

鉄骨造、地上2階建、延床面積698.78㎡

・配備車両

消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、高規格救急自動車、積載車、連絡車各1台の計5台

＜飯能市内の救急救助、火災出動件数及び損害額について＞

・救急救助事業

区 分	平成28年度	平成27年度	前年度対比
	件	件	件
救急出動件数	3,719	3,675	44
救助出動件数	89	79	10

・火災活動事業

区 分	平成28年度	平成27年度	前年度対比
	件	件	件
火災出動件数	28	16	12
	千円	千円	千円
損害額	18,087	3,608	14,479

(参考)火災出動件数は、実際に火災が起きた件数

主管課	危機管理室	一 般 会 計					
		款		項		目	
		9	消防費	1	消防費	2	非常備消防費
事 業 の 主 な 内 容 及 び 成 果							
【消防団事業】 ○費用弁償 消防団員が災害の現場に出動し、又は招集に応じて警戒、訓練等の職務に従事した場合に支給した。 ・支 出 額 ： 20,851,200円 ・火災出動 ： 12回 172人 ・訓 練 等 ： 942回 8,516人 ○消防団運営費交付金 消防団運営費交付金を交付し、消防団活動の活性化を促進するとともに、消防団の運営の円滑化を図った。 ・交 付 額 ： 12,163,200円 ・主な用途 ： 特別点検、分団運営、入団式等への助成 ○工事請負費 団本部・第2分団車庫・詰所の建設工事を行い、地域防災活動の拠点としての活用を図った。 ＜飯能消防団第2分団車庫詰所解体及び飯能消防団本部・第2分団車庫詰所建設工事＞ ・工 事 費 ： 59,140,800円 ・構造及び床面積 ： 木造、地上2階建、延床面積238.48㎡ ○自動車購入 第3分団1部及び第6分団1部に救助資機材搭載型積載車を配備し、消防団の装備を充実強化した。 ・購入額 ： 27,986,040円(13,993,020円×2台)							

主管課	危機管理室	一 般 会 計					
		款		項		目	
		9	消防費	1	消防費	3	防災費
事 業 の 主 な 内 容 及 び 成 果							
【防災対策事業】							
○防災訓練							
＜平成28年度 土砂災害・全国防災訓練＞							
・ 期 日 ： 平成28年6月5日（日）							
・ 訓練会場 ： 市役所庁本舎別館、全地区行政センター、第二区、南高麗、吾野、東吾野、原市場、名栗地区							
・ 参加人数 ： 2,418人(住民参加2,128人)							
○備蓄品等整備							
＜備蓄品整備＞							
・ アルファ化米を8,000食、保存水2L入720本などを購入し備蓄した。							
＜備蓄倉庫整備＞							
・ アルミ製防災倉庫(W=2,400mm L=4,000mm H=2,320mm)を飯能第一中学校、名栗中学校に各1基設置し、平成28年度で市内全小中学校への整備を完了した。							
○飯能市防災会議							
・ 飯能市防災会議を1回開催し、飯能市地域防災計画の改訂を行った。内容としては、組織機構改革に伴う災害対策本部組織の変更と、「資料編」の追加及び一部修正となる。							
○土砂災害ハザードマップ							
・ 埼玉県が平成28年度に指定(73か所)した、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域内の1,170戸の住家や建物の名義人に対し、土砂災害ハザードマップ等を送付した。なお、市内の平成28年度末の指定数は940か所である。							
○災害時要援護者台帳管理システム							
・ 災害時要援護者台帳管理システムの保守委託を行った。なお、災害時要援護者とは災害時に自らの力で災害から身を守ることができない方(高齢者、障害者、外国人等)であり、平成28年度末の台帳登録者は1,892人である。							
委託料 506,952円							
【自主防災組織育成事業】							
○自主防災組織育成事業補助金							
・ 自主防災組織育成事業補助金を交付し、自主防災組織の育成を図った。							
防災資材・機材の購入補助事業(補助率1/4) 26件 767,000円							
防災訓練の実施補助事業(補助率1/2) 単独28件、合同5件、合計33件 564,000円							

事業の主な内容及び成果

【自主防災組織育成事業】

○自主防災組織リーダー養成研修

- ・自主防災組織リーダー養成研修を開催し、自主防災組織リーダーを育成した。

開催日：平成29年2月5日(日) 72人 市役所本庁舎別館2階会議室

内 容：避難所運営ゲームHUG

【防災行政無線等運用事業】

○防災行政無線

- ・防災行政無線の保守管理を行った。

委託料 5,508,000円

- ・防災行政無線の運用としては、毎日の試験放送(ゆうやけこやけ)のほかに、警察署などからの要請により、振り込め詐欺などに関する緊急放送を94回行った。

- ・飯能日高消防署稲荷分署の建設工事にともない、一時的に撤去されていた防災行政無線用拡声子局を、再設置する工事を行った。

工事請負費 864,000円

○雨量情報システム

- ・雨量情報システムの運用及び保守管理(雨量観測局は南・白子・正丸)を行った。

委託料 1,080,000円

○全国瞬時警報システム

- ・全国瞬時警報システム(J-ALERT)の運用及び保守管理を行った。

委託料 561,600円

【震災復興支援事業】

平成28年熊本地震発生にともない、被災地に対して物的及び人的支援を行った。

○物的支援

- ・飲料水(500mlを1,500本、2ℓを180本)を、近隣市と協力して全国からの救援物資の中継拠点である佐賀県武雄市に搬送した。

○人的支援

- ・被災建築物応急危険度判定士として、平成28年4月25日(月)から平成28年4月28日(木)まで、建築課職員2人を熊本市並びに益城町へ派遣した。
- ・罹災証明発行に係る家屋被害認定調査業務(2次調査)として、平成28年7月9日(土)から平成28年7月15日(金)まで、資産税課職員1人を益城町へ派遣した。